No. 387

IELTS Reading・Listening の解き方（True／False／Not Given など）

T/F/NG の判定基準、見出し選択、語数指定の穴埋め、Listening の先読みとひっかけまで。R・L で取りこぼさない手順を1枚に。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. False＝本文と矛盾。Not Given＝本文から判断できない
2. T/F/NG は事実、Y/N/NG は筆者の意見を照合する
3. 語数指定を超えたら不正解。つづりの誤りも不正解

◆ 形式（2026年10月に公式で確認）

	Reading	Listening
時間	60分（解答の記入も含む）	約30分（コンピューター版は最後に見直し2分）
中身	長文3本・計2,150〜2,750語（Academic）	4パート・録音は1回だけ
問題数	40問（各1点）	40問（各10問×4・各1点）
設問の順	本文の順の型と、順不同の型がある	録音の流れの順に並ぶ

◆ Listening 4パートの中身

後ろのパートほど学術的になる。Part 1 の取りこぼしは致命傷。

パート	場面	狙われやすい所
Part 1	日常の会話（2人）	名前のつづり・電話番号・日付・料金
Part 2	日常の独白（施設案内など）	地図・配置図、予定の変更
Part 3	教育・研修の会話（最大4人）	誰が何に賛成したか、意見の言い換え
Part 4	学術的な独白（講義）	メモ・要約の穴埋め。話の区切りの合図

◆ T/F/NG と Y/N/NG の判定表

見るものが違うだけで、判定の考え方は同じ（公式の定義）。

本文と照らすと	事実を照合（T/F/NG）	筆者の意見を照合（Y/N/NG）
同じ内容が書いてある	TRUE	YES
本文と矛盾する	FALSE	NO
本文からは判断できない	NOT GIVEN	NOT GIVEN

◆ FALSE と NOT GIVEN を分ける6つの急所 6

☐ **1 限定語を必ず照合**

all／most／some、always／usually、only は本文の語と一段ずつ比べる。本文が「全員ではない」と示していれば、most→all のずれは矛盾で FALSE。

> Text: Most residents, though not all, supported the plan. / Statement: All residents supported the plan.
> → FALSE（not all と矛盾）

☐ **2 因果は書いてあるか**

本文が「AのあとBが起きた」だけなら、設問の「AがBを引き起こした」は判断できない。順番は因果ではない。

> Text: Sales rose after the campaign. / Statement: The campaign caused sales to rise.
> → NOT GIVEN

☐ **3 「最初・唯一・最大」**

the first／the only／the largest は本文に同じ強さの根拠がなければ NOT GIVEN。話題が出てくるだけで TRUE にしない。

☐ **4 比較の向きと程度**

more than／less than、twice／slightly の向きと程度が合っているか。向きが逆なら FALSE。

☐ **5 主語のすり替え**

本文では研究者が言ったことを、設問では政府が言ったことにする型。中身は合っていても主語が違えば FALSE か NOT GIVEN。

☐ **6 常識で埋めない**

「当然そうだろう」と思っても、本文に書いていなければ NOT GIVEN。背景知識を使わないことは公式も注意している。

◆ 判定のひっかけ（オリジナル） 4

☐ ~~× 本文 The bridge was completed in 1932. → 設問「その地域で最初の鉄橋だった」を FALSE~~

○ **NOT GIVEN**

最初かどうかは本文に書いていない。否定もしていない

☐ ~~× 本文 The tests are usually held in spring. → 設問「試験は春に限られる」を TRUE~~

○ **FALSE**

usually は例外を認める。only spring と矛盾

☐ ~~× Y/N/NG で、筆者が紹介しただけの他人の説を根拠に YES~~

○ **筆者自身の見解・主張を表す文を根拠にする**

Y/N/NG は筆者の考え（claims／views）を見る

☐ ~~× 設問と同じ単語がある文だけ見て TRUE~~

○ **言い換えられた文を探して中身で照合**

同じ単語は誤答の誘い。正解の根拠は言い換えが多い

◆ 見出し選択（Matching headings）の手順 4

1. **見出しの数を確認**
   見出しは段落より必ず多く、同じ見出しは2回使わない（公式）。例に使われた見出しは先に消す。
2. **段落の最初と最後を読む**
   主題は最初の1〜2文か、However 以降に来やすい。具体例の部分は飛ばしてよい。
3. **段落全体をまとめる語を選ぶ**
   段落の一部の細部だけに合う見出しは誤答。数字や固有名詞に釣られない。
4. **迷う2つは保留**
   確実な段落から埋め、残った見出しで消去法。最後に全体の流れで確認する。

◆ 穴埋めの語数指定と書き方 4

☐ **1 語数指定を超えたら0点**
NO MORE THAN TWO WORDS AND/OR A NUMBER なら「2語以内・数字1つ・その組み合わせ」。ONE WORD ONLY なら1語だけ。超えると正しくても不正解(公式)。

> Answer: wooden bridge
> → 2語指定なら可。a wooden bridge は3語で不正解

☐ **2 数え方の決まり**
数字は算用数字でも英語でもよい。check-in のようなハイフン語は1語(公式)。they're などの短縮形は答えにならない。

☐ **3 Reading は本文の語をそのまま**
本文の語を形を変えずに抜き出す。空所の前後と文法がつながるか(単数・複数、品詞)で最終確認する。

☐ **4 つづりの誤りは不正解**
1文字違いでも得点にならない。米つづり(color)と英つづり(colour)はどちらも認められる(British Council・IDP の案内)。

◆ Listening の先読み4ステップ 4

① **語数指定に丸をつける**
パートごとに指示が変わる。最初に語数の条件を確認する。

② **空所の中身を予測**
名詞か数字か、単位(£・km・%)、日付か時刻か。予測があると聞き取る耳が決まる。

③ **言い換えを準備**
設問の語は録音では別の語で言われることが多い。
cheap→affordable など見当をつけておく。

④ **逃した問題は捨てる**
答えは録音の順に出る。1問にこだわると次の2問も落とす。

◆ Listening のひっかけ表現 8

☐ **Actually, it's been moved to Thursday.** … 実は木曜に変更になりました
最初に言った曜日は誤答。Actually の後が正解

☐ **Sorry, I mean the fifteenth, not the fifth.** … すみません、5日ではなく15日です
言い直し。数字の聞き分け(-teen と -ty も)

☐ **That was the original plan, but...** … 当初はそういう予定でしたが…
but の後で答えが変わることが多い。最後まで聞く

☐ **It's S-M-Y-T-H, with a Y.** … S・M・Y・T・H、Y のスミスです
名前は1文字ずつつづる。大文字・小文字は問われない

☐ **My number is oh-seven-double-four...** … 番号は0・7・4・4…
英国では0を oh、同じ数字2つを double と読むことが多い

☐ **I was going to suggest the park, but it might rain.** … 公園を提案しようと思ったけど雨かも
was going to は過去の意図。実行したかは後まで聞く

☐ **Most people assume..., but in fact...** … 多くの人は〜と考えるが、実は〜
講義(Part 4)の定番。in fact の後が要点

☐ **Moving on to the second point...** … 次に2つ目の点に移ると…
講義の区切りの合図。メモの見出しが変わる

◆ Reading 60分の時間配分(目安)

長文	配分	コツ
1本目	約17分	比較的取りやすいことが多い。ここで時間を貯める
2本目	約20分	見出し選択が出たら段落ごとに処理
3本目	約23分	論証型の文章が多い。Y/N/NG は筆者の主張に線

なぜ NOT GIVEN を迷う？
人は書いていないことを常識で補って読む。IELTS の NOT GIVEN はその補いを狙う設問だ。判定の前に「本文のどの文が根拠か」を指で押さえ、**根拠(明示か、はっきりした含意)が見つからなければ NOT GIVEN**と決めるとぶれない。

◆ 確認テスト

1 本文 Only some species migrate in winter. 設問 All species migrate in winter. は？
a FALSE　b TRUE　c NOT GIVEN　d YES

2 本文 Prices fell after the law changed. 設問 The law caused prices to fall. は？
a NOT GIVEN　b TRUE　c FALSE　d NO

3 NO MORE THAN TWO WORDS の答えとして不可なのは？
a the old harbour　b harbour　c check-in desk　d old harbour

4 Listening の設問の並び方は？
a 録音の順　b ランダム　c 答えの長さ順　d 難しい順

5 筆者の主張と照合するのは？
a YES／NO／NOT GIVEN　b TRUE／FALSE／NOT GIVEN
c 見出し選択　d 図のラベル

◆ 解答

1 FALSE only some と all は矛盾
2 NOT GIVEN 前後関係だけで因果は書いていない
3 the old harbour 3語。check-in は1語扱い
4 録音の順 1問逃したら次へ
5 YES／NO／NOT GIVEN T/F/NG は事実を照合

参考資料 IELTS:Academic Reading の形式／IELTS:Academic Listening の形式／British Council:British or American English in IELTS／IDP IELTS:IELTS common spelling mistakes／IDP IELTS:IELTS on computer vs IELTS on paper

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート(全439本・無料)